

まちづくり交付金 事後評価シート
富田西部地区

平成21年12月

山口県周南市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	周南市		地区名	富田西部地区			面積	23.5ha	
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	500百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(街区公園1箇所)、高質空間形成施設(西部1号線)、土地区画整理事業(富田西部地区)									
		提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	街区公園3箇所、西部2号線			事業の進捗状況を踏まえ削除			モニタリングを実施し全ての数値目標を下方修正			
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
提案事業		なし										
交付期間の変更	当初	平成17年～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	狭隘道路率	%	49.5	H16	27	H22	37	26	あり なし	道路整備の事業進捗にあわせて、狭隘道路は着実に減少した。	H22年6月
	指標2	住民の公共施設整備の満足度	%	20	H16	52	H22	43	52	あり なし	各公共施設整備の事業進捗にあわせて、住民の満足度は着実に向上した。	H22年6月
	指標3	居住人口	人	801	H16	690	H22	745	723	あり なし	一定の広さの宅地造成工事実施により、新たな居住者が増えた。	H22年5月
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	下水道整備の満足度	%	34.6	H16			63	68		下水道整備の事業進捗にあわせて、住民の満足度は着実に向上した。	H22年6月
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	・事業の実施により「足が不自由だが、直接自宅前で車に乗ることができる」、「大型の緊急車両もこれで家の前まで入れる」、「狭く、見通しの悪い交差点が無くなり子供が安心して通学できる」など地元の意見を多く聞く機会があり、安心、安全のまちづくりの成果といえる。 ・以前は宅地において隣地境界が不明確なところもあったが、事業完了後は境界もきちんと整備されトラブル等もなくなった。 ・地区内は特にルールはないが、一定の高さの新築住宅により以前より地区の景観が向上した。またゴミ等も少なくなり環境も改善されている。											
5) 実施過程の評価	実施内容											
	モニタリング	H20年度にモニタリング実施 事業進捗の確認 指標の計測手法、達成見込みの確認 指標と事業の関係性(貢献度)の確認 指標達成に向けての今後の対応策の検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた				モニタリング時と同様な方法により確認する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
住民参加プロセス	まちづくり懇談会 区画整理審議会				都市再生整備計画に記載し、実施できた				区画整理審議会開催と、区画整理だりの定期発行を継続する。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	なし											
					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2 - 2 地区の概要

富田西部地区(山口県周南市) まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
都市基盤の整備による地域の安全性・快適性の向上と、にぎわいのあるまちづくり	狭隘道路率	単位: %	49.5	H16	27	H22	26	H22
	住民の公共施設整備の満足度	単位: %	20	H16	52	H22	52	H22
	居住人口	単位: 人	801	H16	690	H22	723	H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な事業進捗にあわせ狭隘道路は着実に減少しており、地区の安全面、防災面の課題も解決されつつある。 区域内居住者の利便性が向上する各公共施設整備の計画的な事業進捗により、住民の満足度は着実に向上した。 一定の広さの宅地造成工事により、新たな居住者が増え居住人口は下げ止まった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 事業完了へ向けて今後も効率的、計画的な事業進捗により、更なる安全面、防災面の向上を図る。 区画整理事業終了年度における地区全体の満足度の目標値を80%とするため、より効率的、計画的な事業の推進を図る。 本事業により地区外に移転された方や、もともと居住者の二世、三世の居住及び地区外からの新たな居住者の定住を促進するため、更に快適な居住空間の形成を図る。 地域住民のコミュニケーションや今後のまちづくりについて考える活動などを通じ、地域力の向上と、住民活動と事業の継続的な連携を図る。 ゴミステーションの位置及び配置計画については、既存ゴミステーションと調整を図りながら、地元自治会、環境衛生自治会等との連携を図る。